

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和2年度

法人名	株式会社 六匠	代表者	北村 拓人	法人・事業所の特徴	「一人ひとりの笑顔・思い・願いを大切に安心して暮らせる場所を地域で築きます」「継続的に支え合い助け合うことで、ささいなことや気持ちの変化を見逃さず、心に届くサービスを提供します」を理念としています。「ひもときシート」を活用し、職員全員で利用者の思いや暮らし方の希望、意向を把握できるように努力しています。
事業所名	時間の奏	管理者	内貴 文之		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	人	2人	人	1人	1人	人	7人	人	人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	運営会議後に見学をしていただくようにする。	コロナにより、運営会議が開催できませんでした。	質問と答えが連動していないので、回答のしようがない。	事業所評価の質問内容をもう一度、考え直します。
B. 事業所のしつらえ・環境	道路のでこぼこは、早急に埋めます。引き続き、草引きはしていきます。施錠は夜間帯のみしていますが、今後、徘徊に出られそうな利用者様がおられるときは、ご家族と市と協議しながら、施錠する可能性があります。	道路のでこぼこは、埋まりました。施錠は夜間帯のみしています。	特になし	引き続き、草引きはしていきます
C. 事業所と地域のかかわり	まずは地蔵盆などに参加してみる。フリースペースの事も運営会議資料にのせるようにする。	コロナにより、外出や外部との関りがほぼありませんでした。フリースペースはコロナで自粛と、行う場所が変わりましたので資料には載せられませんでした。	特になし。	まずは地蔵盆などに参加してみる。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	引き続きボランティアにきていただき、交流をはかる	コロナにより、ボランティアの方も自粛されていました。	特になし。	ボランティアが再開されて、交流をはかる
E. 運営推進会議を活かした取組み	運営会議の議事録を職員にも閲覧できるように、1階フロアにおいて目を通すように周知する。	運営会議の議事録を1階フロアにおいてあります。	職員間のケースの共有や支援の方向性の一致をどのように話し合っておられるのか教えていただきたいです。	運営会議にサービス推進会議の議事録を付けてみる。
F. 事業所の防災・災害対策	防災計画を見直し、訓練を年2回行う。	自主訓練で避難訓練を年2回行いました。	特になし	火災だけでなく、他災害の訓練も考えてみる。